



2009年6月

けいはんな新産業創出ニュースレター第8号

(会員さま配布資料)

<目次>

本号におけるけいはんなのトピック	P 1
関西地域の注目企業	P 2～6
中部地域の注目企業	P 7
北陸地域の注目企業	P 8～9
四国地域の注目企業	P 10～11
センター情報	P 12～15
会員の皆さまへ	P 16

発行：けいはんな新産業創出・交流センター 大阪オフィス

〒 530-6691 大阪市北区中之島6-2-27 中之島センタービル30F 関西経済連合会内

TEL 06-6441-9213 FAX 06-6441-9347 発行人 佐藤有彦 担当 天野了一

○皆既日食を4K 超高精細全天映像でライブ伝送上映～ 世界初、遠隔地で高臨場体感・体験～

・ **NICT (独立行政法人情報通信研究機構)** : 理事長 宮原秀夫) は、URCF*¹ (超臨場感コミュニケーション産学官フォーラム : 会長 原島博) と共同で、**7月22日の皆既日食の現地の模様を、「4K*² 超高精細全天映像伝送システム」を用い、ライブ通信上映実験を行う予定**です。同システムは、NICTが世界に先駆けてその基盤技術を完成させ、**世界初の試み**として「4K 超高精細全天映像」を皆既日食にあわせて行うものです。

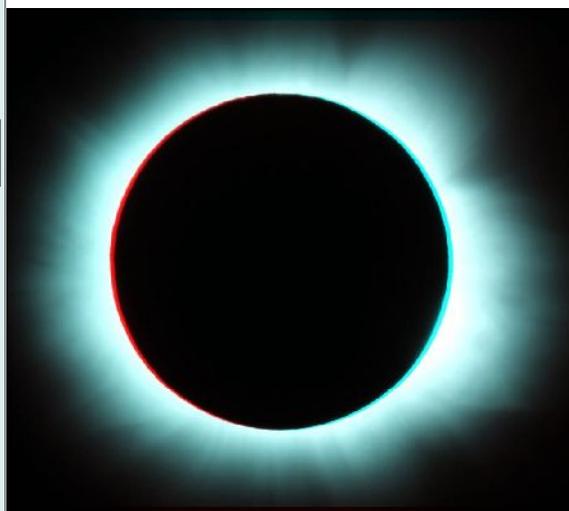
* 1…URCF : 超臨場感コミュニケーション産学官フォーラム (Ultra-realistic Communications Forum) は、総務省及び NICT が2007年3月に設立した産学官連携組織。あたかも、その場にいるかのような環境・感覚を提示する超臨場感コミュニケーション技術 (超高精細・立体映像、高臨場感音場、五感通信技術など) を実現するために、産学官で連携して、研究開発・実証実験・標準化等を効果的に推進しています。 <http://www.scat.or.jp/urcf/>

* 2…4K : 水平解像度が4,000画素であること。HD (ハイビジョン) 映像は水平1,920×垂直1,080画素です。従って、HD 映像の4倍 (4画面分) である水平3,840×垂直2,160画素を持つ映像を、水平解像度が3,840≒4K画素であることから、4K映像と呼んでいます。

・ 日本で皆既日食が見られるのは46年ぶり。この後2035年まで観測されないことから、見学ツアーが販売されるなど、全国的な話題になっています。

・ NICTでは、「実験の様子を一般にも公開し、遠隔地での日食を高臨場体感・体験していただきたい。日食現象、特に皆既日食では太陽の満ち欠けもさることながら、全天空と周辺の景色全体がダイナミックに変化する様子を、高精細な画像でご覧いただける。」として、入念に準備を進めています。**実証実験が見られるのは、ABC (朝日放送) ホール (大阪市)、けいはんなプラザ (京都府精華町)、つくばエキスポセンター (つくば市) の三箇所**。映像は奄美大島などから伝送されます。

(お問い合わせ先) NICT広報室 皆既日食担当
電話042-327-6923



○株式会社 オンリーワン

- ・ 設立 : 1999 年
- ・ 資本金 : 2800 万円
- ・ 代表 : 代表取締役社長 村上一
- ・ 特筆事項 :
同志社大学、京都大学、立命館大学など各地の大学や、防衛省
の各施設にキューピーキャラクターグッズを納入
- ・ 事業内容 : 各種キャラクターグッズの企画製造販売



<注目点>

- ・ キャラクターと観光地の特産品を合体させたご当地キャラクターグッズの企画・製造・販売により、観光地等のブランディングを支援するビジネスを展開。
- ・ **小ロット供給 (雑貨業界では、高コストで実現不可能とされてきた 1000 個~) が可能**であり、観光地のほか、大学や自衛隊等、従来オリジナル商品とは縁遠かった顧客の市場を開拓。
- ・ ゴッズの**依頼を受けてからイラスト、サンプル作製を経て正式納品まで約 100 日**で対応可能。
- ・ 小ロット生産のため、ストックレスの生産販売を実現。
- ・ 2000 種類を超え、1500 万個の販売実績。
- ・ 「地域・期間限定」「コラボレーション」「業界専用」「タイアップ」等、ライセンサーに対して提案型限定市場の開発とキャラクターの可能性を追求。

<製品例>

- ・ 全国的ブームとなった「ご当地キューピー」をはじめ、目玉おやじ、ガチャピンムック、ウルトラマン等現在 1200 種類以上のアイテムを商品化しており、通天閣ビリケンTMの著作権も管理。



<連絡先>

〒531-0071 大阪市北区中津 4-3-11

TEL : 06-6292-5686 FAX : 06-6292-5687

担当 : 大西

E-mail : onishi@only-one.co.jp

URL : <http://www.only-one.co.jp>

○ 三津江金型 株式会社

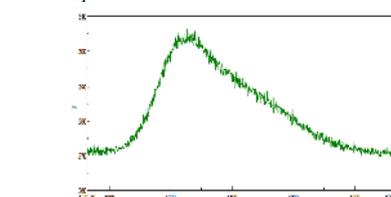
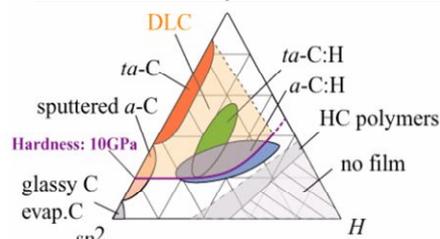
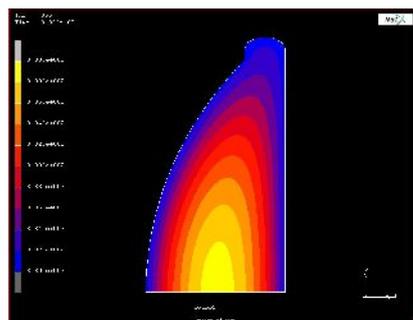
- ・ 設立 : 1951 年
- ・ 資本金 : 4300 万円
- ・ 代表 : 代表取締役社長 三津江友幸
- ・ 特筆事項 :

平成 12 年、プロジェクター用反射鏡およびレンズアレイ成形用金型事業が大阪府から「テイクオフ 21 事業」として認定。

平成 15 年、『光学ガラス素子向け超精密金型の設計・製造技術の確立』が、中小企業総合事業団から戦略的基盤技術力強化事業として採択。

平成 18 年、光学ガラス素子成形の信頼性保証技術高度化及び金型製造技術革新が中小企業基盤整備機構から「戦略的基盤技術高度化支援事業」として採択。

- ・ 事業内容 : ガラス成形用各種金型及びガラス成形に関する各種エンジニアリングサービス (試作、プレスシミュレーションサービス、各種分析等) を提供。



<注目点>

- ・ 非球面レンズ、ナノインプリント用から大型ロールまで各種ガラス成形用金型を提供。DLC や貴金属系コーティング等のモールド成型金型向け特殊コーティングを提供。
- ・ 開発要素の強い形状、硝材について金型製作、成型テスト、試作品製作までを提供。
- ・ 工法や成型装置開発の検討依頼にも対応可能。
- ・ 高性能ガラス光学素子の試作から量産立ち上げまでのトータルサポートが可能。
- ・ 成型シミュレーションや分析等のガラス成形に関わるエンジニアリングサービスを展開。

<連絡先>

〒578-0905 大阪府東大阪市川田 4-4-41

担当 : 代表取締役社長 三津江 友幸

TEL : 072-965-0635 FAX : 072-965-6129

E-mail : tomoyuki@mitue.co.jp URL : <http://www.mitue.co.jp>

○株式会社 丸エム製作所

- ・ 設立：1927 年
- ・ 資本金：9600 万円
- ・ 代表：代表取締役社長 松元 収
- ・ 特筆事項
 - 平成 11 年 ISO 9001 取得
 - 平成 16 年 ISO 14001 取得
 - 平成 19 年 戦略的基盤技術高度化支援事業
(採° ティング インダ ストリー) に高強度・耐熱マグ
ネシウム合金ねじが採択
- ・ 事業内容：ねじ類、冷間プレス・切削部品、高強度樹脂製品、割ピン、工具・金型、
アッセンブリー 他あらゆる工業用ファスナー・パーツ類の取り扱い・製造販売



<注目点>

- ・ 研究開発（技術開発）や市場分析（製品企画）と営業戦術の立案など、多角的にお客様をサポートする体制にこだわり、マーケットインに根ざした製品開発を目指す。1957年に日本で初めてのステンレスねじを生産開始して以来、約半世紀、数々のオリジナルねじ製品類を生み出している。
- ・ 「地球の環境保護」「やさしさへの開発」「未来の自動車」「ユビキタスな生活」「快適な空間」「みぢかな安心」をテーマに様々なねじ製品・締結パーツを製造。

<製品例>

- ・ 生分解性ねじ「エコ・ファスニー」は、植物由来のプラスチックで作られており、環境中で水と二酸化炭素に分解するため環境に優しい。分解促進剤の使用により、分解時期の制御も可能。既定サイズのほか、オーダーメイドでの生産も可能。
- ・ 「マグネシウム合金ねじ」（特許出願中）は、実用金属中で最も軽い金属であるマグネシウム合金製で、比重 1.78。アルミねじの2/3、ステンレスねじの1/4の重量。強度、電磁シールド性、振動吸収性に優れる。マグネシウム合金であり、同じマグネシウム合金同士なら、接触による電食が生じないため、マグネシウム合金製筐体等の締結に適しており、情報、家電、自動車、航空 機分野など広範囲な用途へ対応。



<連絡先>

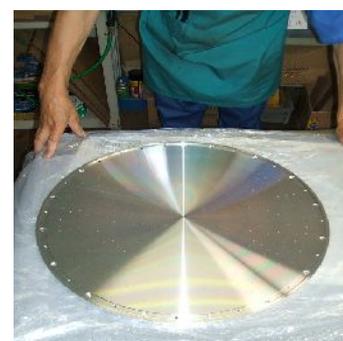
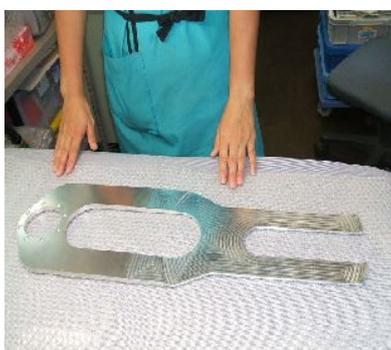
〒574-0015 大阪府大東市野崎 4-7-12 担当：足立 大明

TEL：072-863-0125 FAX：072-863-0160

E-mail：adachi@maruemu.co.jp URL：<http://www.maruemu.co.jp/>

○ 有限会社 大阪製作所

- ・ 設立：1959 年
- ・ 資本金：1000 万円
- ・ 代表：代表取締役社長 後藤良一
- ・ 特筆事項：
 - 2000 年 大阪府中小企業創造活動促進法の認定
 - 2001 年 関西経済連合会 [「関西 I T 活用企業百撰」優秀賞](#)の受賞
 - 2008 年 近畿経済産業局 戦略的基盤技術高度化支援事業に、ナノトルク自動制御を活用した「微細切削加工技術ノウハウ構築支援システム」開発が採択
- ・ 事業内容：半導体製造装置精密部品、真空産業機器精密部品の製造、医療分析機器精密部品、精密機械部品の製造、各種試作部品の製造及び販売。



<注目点>

- ・ ステンレス、アルミ合金精密加工技術、チタン、コバルト、ニッケル等、難切削材精密加工技術、 $\phi 0.3 \sim \phi 0.05$ 高速微小深穴加工技術、微細バリ取り加工技術、アルミ鏡面切削加工技術、SUS 鏡面加工技術を有する。
- ・ [アルミ・ステンレス合金の加工が主で、銅、チタン、コバルト、ハステロイ等の難削材の加工も得意](#)。特に表面品質（美観、面粗度）を重視する顧客から高評価を得ている。
- ・ スタンスは「汎用のNC工作機械でどこまで高精度加工が出来るか??」。 [非常に高精度かつ低コストに仕上げる](#)ことが出来、半導体製造装置、医療分析機器、真空産業機器などに多くの実績を誇る。
- ・ 現在取り組んでいる技術課題は、「微細・微小・超精密加工技術と大型加工技術の融合」。大きな円盤に微細な穴を多く明ける製品や、1m以上のパイプに微細穴を開けていくなどの [大型製品と微細加工技術の融合を行う](#)。切削加工で研磨加工レベルの高精度加工を実現し、 $\phi 200 \sim \phi 500\text{mm}$ の大型旋盤加工品では、[内外径公差 \$\pm 10\$ ミクロンの精度で安定した加工](#)が可能。

<連絡先>

〒581-0853

大阪府八尾市楽音寺 5-137 担当者 代表取締役社長 後藤良一

TEL：072-941-1813 FAX：072-941-8630

E-mail：web@osaka-jp.net

URL：<http://www.osaka-jp.net>

<本号の注目企業・関西Ⅲ> (弊センターからのご紹介)

○ 株式会社 シバタシステムサービス

- ・ 設立 : 1988 年
- ・ 資本金 : 500 万円
- ・ 代表 : 柴田 和博
- ・ 特筆事項 :

京都府中小企業応援条例研究開発認定・京都府中小企業経営革新支援法認定

平成 17 年 財団法人京都産業 21 創援隊最優秀ビジネスプラン

平成 20 年 池田銀行 ニュービジネス地域おこし奨励賞

平成 21 年 日刊工業新聞社 第 21 回中小企業優秀新技術賞

- ・ 事業内容 : 電子部品・半導体製造設備の設計製作、バイオ研究ツールの設計製作、販売



<注目点>

- ・ 新開発の「ハイテクピンセット」は、従来の吸着ピンセットや真空ピンセットの概念を変えた、第3のペンシル型ピンセット。また、同技術を応用し、さらに小さなタンパク質の結晶をつかむ「クリスタルキャッチャー」も大阪大学との共同研究により実用化。



- ・ あらゆる薄小微細な物体を、動力源を使わずに保持・離脱できる。パイプの中に粘着性の樹脂を充填。一方向から樹脂を押し、反対側にはみ出た樹脂で、対象物を粘着保持する。離脱する時は、対象物を樹脂が充填されているパイプの外径に添ってスライドするパイプを押し当てる事で、保持と離脱が簡単、迅速にできる。
- ・ 本製品に使用する粘着樹脂は、対象物の材質や形状に関係なく粘着するが、対象物には付着しない特性があり、汚したり変化させない。
- ・ 水中の対象物を保持する事も可能で、あらゆる用途に利用可能。半導体・電子部品などの製造工程、金属線・プラスチック線、精密部品などを取り扱う工場の作業・検査工程、実験や検査などを行う研究室、薄小なフィルム片・多孔質な紙などを扱う工程、宝飾・美術工芸品などを取り扱う工場の作業・検査工程、水中での移載工程、ホコリの除去用など多岐にわたる。最近ではネイルアートやデコ電ケータイの創作にも使用。

<連絡先>

〒611-0033 京都府宇治市大久保町西ノ端 1 番地 25 宇治ベンチャー企業育成工場 3 号

TEL : 0774-46-0087 FAX : 0774-46-0701 URL : <http://www.shibata-sss.com/> 担当 柴田

＜本号の注目企業・中部地域＞（中部経済連合会からのご紹介）

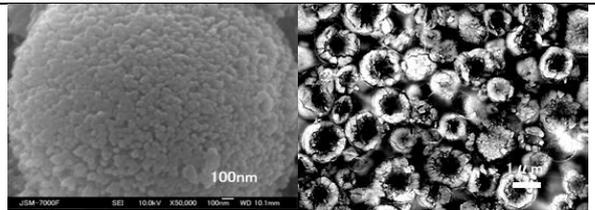
○株式会社 NCAP

- ・ 設立：2008 年
- ・ 資本金：100 万円
- ・ 代表：代表取締役 富岡達也
- ・ 特筆事項：

＜バブルテンプレート法により合成した炭酸カルシウム中空粒子＞

[名古屋工業大学](#)の研究開発課題「ナノ粒子構造を有する中空粒子のバブルテンプレート法による量産プロセスの開発」の成果を基にした JST（科学技術振興機構）の[大学発ベンチャー](#)。

- ・ 事業内容：炭酸カルシウム中空粒子、酸化亜鉛チューブ粒子とこれらの粒子を表面改質や機能性物質の内包により複合化した高機能中空粒子の製造・販売、高機能中空粒子の製品企画、製造技術開発と機器類の設計・製作および販売、技術供与。



＜注目点＞

- ・ 無機中空粒子は各種材料に混入させることで、製品の軽量化や複合機能化ができるため、医薬品や食品、化粧品、塗料、水処理、各種フィラー など、多くの分野で注目されつつある。なかでも炭酸カルシウムを原料とした中空粒子は生体に対する安全性が高いため、高機能化を図ることで新しい用途へ広く活用できると期待されている。

- ・ [バブルテンプレート法](#)を用い、pH を変化させながら原料である塩化カルシウム水溶液中に微細な炭酸ガス気泡を分散させ、水溶液と気泡表面の界面反応によって生成したナノオーダーの微細粒子を気泡表面に凝集させて殻を作り、製造困難な炭酸カルシウムの中空粒子を製造することに成功。

従来の W/O エマルジョン法のようにコアを除去する必要がないため、[廃棄物の処理が不要になり、コア除去時の残存物によるコンタミネーションがない](#)。また、スプレードライ法に比べ、高温にさらす必要がないため、工程の簡素化ができることや、[添加材料に対しても悪影響を与えず高機能化が可能](#)なことなどの利点があり、広範な材料に応用することが可能。炭酸カルシウム純度の高い針状アラゴナイトや、酸化亜鉛を原料とした単結晶チューブなどの開発にも成功。

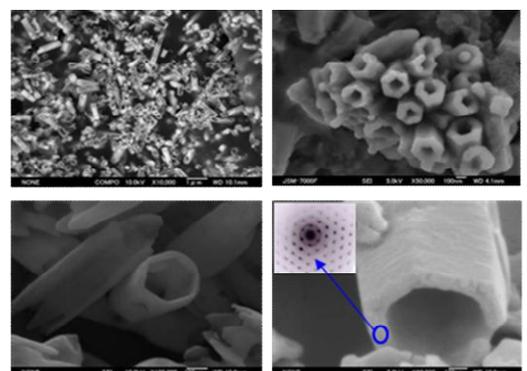
＜連絡先＞

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町

インキュベーションセンター

代表取締役：富岡達也 TEL：052-651-9118、090-6586-9754

E-Mail Tomioka-tatsuya@nifty.com



＜酸化亜鉛ナノチューブ＞

○株式会社 センサ

- ・ 設立：1996年
- ・ 資本金：5000万円
- ・ 代表者：代表取締役 松井和幸
- ・ 特筆事項

- 1996 石川県創造的事業活動の支援対象企業として認定
- 1998 石川ブランド優秀新製品賞 2006年まで毎年受賞
- 2003 金沢大学共同研究 (超音波を使った骨密度測定装置の開発)
- 2003 東北大学共同研究 (目の動きと口の画像認識による入力システムの研究開発)
- 2009 愛知県立大学共同研究 (自動車用疲労度測定警報装置の開発)
- 2009 文部科学大臣表彰 科学技術賞

・ 事業内容：医療機器、各種制御装置、健康機器。保有するセンサー技術をオーダーメイドによるユニット部品として供給。



<骨密度測定器>

<製品例>

・生体センサー部品及び製品のOEM供給を行っている。

・超音波骨密度測定器は、オール・イン・ワンで計測部と制御部が一体となったコンパクト設計。省スペース、可搬性に優れ、結果をわかりやすい「骨齢」として骨が何歳代かを示すことができる。パソコンとUSBケーブルで接続することで測定結果を保存でき、骨の健康管理が行える。



<ストレス測定器>

・生体インピーダンス(ストレス)測定器は、頭部、胸部それぞれの疲労度を測定、その結果から総合的に疲労度を表す”疲労度点数”が表示される。メンタルボイスは、携帯可能なストレス測定器である。

・骨密度測定器やストレス測定器の中核となるセンサー部品は、健康器具メーカーや医療機器メーカーなどにOEM供給しており、体脂肪計や各種健康器具などに内蔵することにより、商品価値を高めることができる。



<メンタルボイス>

・「ナーブ・インデクサー(神経反射電位計)」は神経活動電位を測定し、その結果から疲労レベル、交感神経や副交感神経などの自律神経バランス、ストレス変化を定量計測。10秒で「点数」として評価できる。疲労度測定器として車載し、運転者の疲労度等を測定し、データを取込みグラフ化することも可能。



<神経反射電位計>

<連絡先>

〒923-0903 石川県小松市丸内町大手63番地

TEL：0761-48-6088 FAX：0761-48-6089

URL：<http://www.sensa.co.jp/> 担当：中川

E-mail：info@sensa.co.jp

○株式会社 北計工業

- ・ 設立：1954 年
- ・ 資本金：1000 万円
- ・ 代表者：代表取締役社長 松井富雄
- ・ 特記事項：1963 年 自動おしぼり機の発明により、日本優秀発明品の指定
1998 年 ISO9001 取得
2001 年 福祉機器『カラートーク』が経産省グッドデザイン賞インフラグッドデザイン賞を受賞
2005 年 送電線故障情報システム FAST 渋沢賞受賞

事業内容：計測機器、各種センサー、医療機器など、各種分野における省力化・合理化の機械とその電子制御機器、コンピュータによる生産管理システム、電力機器としての各種測定器等の開発・設計・製造販売

- ・ エレクトロニクス・マイコン制御技術を背景に、顧客の様々な要望やアイデアを形にする。

<製品例>

- ・ [福祉機器 カラートーク] 色名を知りたい物体の表面に本体をあて、ボタンを押すと、センサーが測定し、**色の名を音声で伝える**。色表現は、JIS 規格「物体の色名」Z8102 に沿った表現を用い、基本となる色 13 色に明度、彩度に関する修飾語と、色相に関する修飾語をつけて、あらゆる色を約 220 通りに表現し、「あざやかな、赤みの、黄色」といったふうに音声で喋る。携帯できる大きさで、電源も単 3 電池を使用。外国語も対応。



- ・ [送電線落雷故障点測定システム FAST] 中部電力（株）と北海道電力（株）の協力により製品化されたもの。送電線故障時に発生する電流・電圧波形データを送電線両端の変電所又は鉄塔に設けた「電界磁界センサ」で検出し、そのデータを保守担当事業所に無線伝送する。保守担当事業所では、伝送された波形データをパソコンで解析し、両端のセンサに電流・電圧信号が到達した時刻差等を基に故障箇所を伝える。**故障点を平均±0.4km の精度で特定**することが出来る。従来のシステムでは平均±1.5km であった精度が、飛躍的に向上し、さらに、その故障原因が雷かそれ以外かを自動判定する。

<連絡先>

〒924-0827 石川県白山市今平町432番地

TEL：076-276-2600 FAX：076-276-3838

担当： 営業技術課 深田

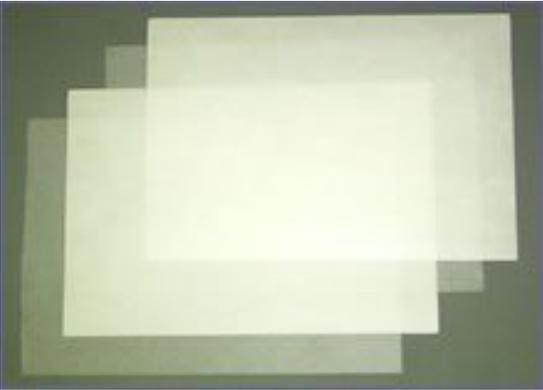
E-mail：fukada-y@hokkei.co.jp URL：<http://www.hokkei.co.jp/>

○株式会社 阿波製紙

- ・ 設立：1916年
- ・ 資本金：10億6000万円
- ・ 代表者：三木 康弘
- ・ 特記事項：
阿波和紙の伝統を継承する老舗から技術革新に取り組み、機能紙のトップメーカーに成長。
2009年6月、第45回徳島新聞賞「産業賞」を受賞。
- ・ 事業内容：各種フィルターペーパー、分離膜、支持体紙
車両クラッチ板用摩擦材、蓄電池用セパレーター、建材用コアシート等の特殊用途紙、
不織布の製造

<製品例>

- ・ **izi (イージー)** は、**光触媒活性による高い抗菌特性**を持つ銀担持アクリル繊維を、阿波製紙の抄紙技術・加工技術によってパルプや化繊に混抄し、用途に応じて機能性を付与した高機能抗菌紙。

- ・ 一度 izi に接触した菌は、izi を通過後も一定時間は不活性化するため、**各種フィルターとしても効果的**。空調用
フィルター、液相系各種フィルター、カバー用品、梱包材、壁紙、マスク等、各種抗菌効果が要求されるものに利用できる可能性がある。

- ・ **ALT (アルト)** は、100%ポリオレフィンのペーパー。吸湿性が無く、耐水、耐アルカリ、耐酸性に優れ、紙粉、起毛が発生しない。水は通さないが、空気や湿度を通す特性がある。
- ・ **PURELY (ピュアリー)** は、ポリエステル繊維100%の湿式不織布。
- ・ **分離膜支持体紙** は濾過膜を支える合成繊維の湿式不織布で、シート状に仕上げたもの。海水の淡水化、半導体洗浄用水製造など、濾過装置の中で重要な位置を占めている。

<連絡先>

〒770-0005 徳島市南矢三町3丁目10番18号 TEL:088-631-8100(代) FAX:088-632-5951

担当：経営企画室 吉川

E-mail yosikawa@awapaper.co.jp URL <http://www.awapaper.co.jp/>

○株式会社 ベルグアース

- ・ 設立： 2001 年
- ・ 資本金： 2 億 3320 万円
- ・ 代表： 代表取締役社長 山口一彦
- ・ 事業内容： 野菜苗の生産・販売、バイオテクノロジーによる研究開発。
農業生産に関するコンピュータソフトの開発および販売
- ・ 特筆事項：
 - 平成 17 年 地域食料産業等再生のための研究開発等支援事業の認定
 - 平成 18 年 日本最大級となる閉鎖型苗生産施設を建設、稼動を開始。
 - 平成 20 年 農商工連携 88 選 認定

<注目点>

- ・ 苗生産販売を中心としたアグリベンチャー企業。平成 13 年に(株)山口園芸から研究開発部門・企画部門・販売部門を分社化して誕生。企画・研究 開発を中心とした提案型企业として、21 世紀のアグリビジネスを展開。
- ・ 育苗分野のシステム化を積極的に推進。生産管理システムを主軸とした、WEB 在庫公開（ほうさく. ネット）・在庫管理・農薬履歴等のシステムネットワークを開発。
- ・ 日本最大級の閉鎖型苗生産施設は、照明やCO2がコンピュータで自動制御され、苗にとって適当な環境が整えられており、ハウス育苗より効率良く、光合成産物を植物体内に蓄積できるため、初期生育が早い。接ぎ木苗の場合、ハウス育苗に比べて発根が1日早く、順化が最大で1.5日早く終了する。また、仮植や圃場に定植した後も、元気に早く生育する。
- ・ 最大のメリットは、病害虫の侵入を最小限に抑えることができること。これにより、農薬使用量の飛躍的減少が可能に。花房着生葉位の低段化・生育速度の向上・アントシアニンの増加・茎の肥大なども顕著である。



<連絡先>

〒798-3361 愛媛県宇和島市津島町北灘甲 88-1 担当：経営管理部 野本
TEL:0895-20-8231 FAX:0895-20-8042
URL <http://www.bergearth.co.jp/>

<センター情報>

【各種フォーラム等】

<実施済分>

○4月28日、第11回シーズフォーラムを開催。

- ・徳島大学と京都大学のコラボレーションにより、「新しい材料創製を支えるナノテクノロジー」と題し、フォーラムを開催しました。

<講演概要>

- ①徳島大学・佐竹教授 「徳島大学における産官学連携の取り組み状況」
 - ・知的財産本部が産官学の窓口であり、「研究の活性化、成果の育成・活用」と「産業人材育成による地域活性化への貢献」を掲げ活動している。教員を支援するため、地元企業のものづくり力を活用している。また、研究成果を発掘し大きく育てるために、OB を含む専門性の高い外部人材 40 名を抱え、徳島、大阪、東京から情報発信している。さらに、全国の大学、高専の産官学連携窓口とデータベース網を作り上げ、地元企業に情報を提供している。
- ②徳島大学 ・ 村上教授 「ZnO/Ag/ZnO ナノ積層化による低い抵抗率を持つ透明導電膜の開発」
 - ・稀少金属(素材)を用いない素材が超長寿命の金属素材として、市場から要求されている。そのなかで ITO 膜(透明導電膜)の代替素材は、酸化亜鉛にアルミニウムをドーピングしているが、品質が十分でない。銀の薄膜とその表面に銀のナノ粒子を均一に配置し、上下を酸化亜鉛膜で挿み積層化することにより、透明性、導電性の優れたものが出来た。
- ③徳島大学 ・ 森賀教授 「配合比率により三原色を呈する LaTiO₂N 系顔料」
 - ・無機顔料の鮮明な発色は毒性の高い金属の性質に負うところが多い。毒性の低い、汎用性のある金属と酸窒化物との組み合わせで、三原色顔料を作成することを提案している。LaTiON 系顔料で酸素と窒素の配合比を変化させ黄色及び赤色を作り出した。最も発色の難しい青色は Ti の一部を Sr で置き換え LaTiSrON 系で発色させた。
- ④徳島大学 ・ 中川助教 「安定した水素供給を可能とする優れた耐久性を持つシリカ被覆触媒の開発」
 - ・有機ハライドは将来の有力な水素供給源となる。脱水素反応を進めるには白金触媒が知られているが、表面積を大きく保つために、炭素素材上に白金をナノ粒子状で分散させている。しかし、高温、長時間の使用により、白金は大粒子化を起し触媒効率を著しく低下させる。炭素担持白金触媒の表面を制御された有機シリカ層で被覆すると、高温下で触媒効率を持続させることが分かった。
- ⑤京都大学 ・ 年光教授 「京都大学の産官学連携活動について」
 - ・企業がグローバル競争に立ち向かうために、同業者の中でフロントランナーとなれるようなお手伝いをしたい。現在、産官学連携センターで関与している共同研究は全学の約 10 分の 1 である。複数企業、複数の研究室が関与するプロジェクトには対応している。90%を占める個別の共同研究を法的に支援するため、法務室を充実させている。医学、理工学、情報の知的財産はその分野の特徴に応じ、社会の時間軸に十分対応が出来る体制を取っている。

⑥京都大学・斧教授「スパッタ方式によるナノワイヤ大量生産法手法 ～Si ナノワイヤ太陽電池等の応用を目指して」

・米国を中心に、ナノワイヤに関する研究が盛んに行われている。ナノワイヤの形状により、エネルギー変換素材、熱伝導率が下がる、相変換温度が下がる等の特徴が現れる。Si ナノワイヤは、基板上の溶融した金触媒からボトムアップで成長する。ナノワイヤの形状のポイントは、垂直配向、ワイヤの直径、長さ、そして基板上の配置である。提案したスパッタ式+VLS 法は、現行のLSI 製造工程が活用でき、基板の大口径化が可能で大量生産に向いている。期待される用途としては、太陽電池、熱電素子、センサー等が挙げられる。

⑦京都大学・田畑 教授「マイクロ、ナノ部品のアセガル技術～マイクロ・ナノ材料とMEMS, LSI センサの融合技術」

・MEMS は小型、安価なため、加速度計、ジャイロ、圧力センサーとして、人目に触れることは少ないが多く使われている。均一なナノ粒子を流体デバイスで作り、パターニング技術で並べ、そして光誘起誘電泳動法で動かし、従来のトップダウンで得られた半導体等の表面に配置し新しい機能を付与できる。更にDNA の塩基性を応用した接着性を応用し、複数の微小部品を指示に従い、組み立てる方法も提案した。

⑧京都大学・馬淵教授「新ナノスケール材料“ナノポーラス金属”」

・合金の 1 成分を酸で溶かし出し、孔径が nm スケールのスポンジ状構造を作ることが出来る。ナノ粒子、ナノ結晶と同等、磁性、吸蔵、電位による伸縮性、そして表面積の増加等ナノスケール効果が現れる。形状は薄片(厚さ:数 10 μ m)の発泡体で取り扱いが容易であり、DDS の薬剤の保持体、水素吸蔵合金、アクチュエータ機能を生かしたセンサー、そして新しい燃料電池電極、触媒等への応用が考えられる。

<今後の予定>

◎第 12 回シーズフォーラム

平成 21 年 7 月 23 日(木) 13:30～17:30 京都工芸繊維大学と三重大学による産学官民連携の取り組み、「21 世紀を創成する環境・エネルギー技術」と題し、新しいシーズをご紹介します。

参加費： 無料

※申し込み： FAX 又はホームページからお申し込み下さい。

http://keihanna.biz/business/event/seeds_forum.html

※お問合せ先： 大阪オフィス（担当：川村） TEL：06-6441-9213 FAX 06-6441-9347

◎けいはんな環境・エネルギー研究会

・世界的には、ポスト京都議定書の地球温暖化防止対策の国際枠組み交渉の期限があと半年に迫る一方、国内では、産・学・公・住の間で様々な環境の取組が始まっています。関西の経済界においては、「環境、健康、安心の街」構想の下、関西の強みを活かした環境貢献型の新たな産業の創出を提唱され、また、次世代環境技術の普及に向けた取組が進められています。

・けいはんな学研都市でも、サード・ステージプランの主要テーマとして「持続可能な社会のための科学」を掲げ、産学公住連携の下に、環境を初めとする課題に取り組むこととしています。

- ・そこで、けいはんな新産業創出・交流センターでは、平成20年4月26日に「けいはんな環境・エネルギー研究会」を設立し、地元自治体等関係機関とも連携し、環境・エネルギーに関する研究開発テーマの探索や、プロジェクトの創出を目指して活動しています。今後は、「エネルギー自立（自律）の地域と、家とクルマのハイブリッド空間の形成」をテーマに、具体的プロジェクトの創出につなげていきます。多くの皆様のご参加を、お待ちしております。

詳細およびご参加は、下記 URL から、お申込下さい。

<http://keihanna.biz/eco/meaning.html>

- ・お問い合わせ先：新産業創出交流センター 有門 TEL:0774-98-2230

◎「第4回けいはんなビジネスメッセ」

- ・7月16日（木）、10:00~17:00、けいはんなプラザにて、けいはんな学研都市および周辺の大学、研究機関、企業がもつ豊富な技術シーズ、自ら製造・開発した新製品、サービス等を一堂に展示、技術シーズの事業化・ビジネスマッチングの促進、産業クラスター（けいはんなイノベーションクラスター）の形成を目的とした「第4回けいはんなビジネスメッセ」を開催します。
- ・本年は、特に「ものづくり・ICT、環境、光、医療、健康・福祉」分野の事業展開に取り組みます。また、昨年度から研究会にて取り組んで参りました「環境・エネルギー」分野にもスポットを当て、先端的ビジネスの創出もめざします。どうかふるってご参加ください。
なお、本事業は、競輪の補助金を受けて実施するものです（財団法人JKA）。

- ・お問い合わせ先：

ビジネスメッセ事務局 中井・木下 TEL:0774-98-2230

詳細、およびお申し込みはホームページをご覧ください。<http://www.keihanna.biz>

【若手研究者交流会】

- ・学研都市に立地する企業・研究機関・大学院などの若手研究者が、自由に意見交換し交流を深め、新しいビジネスや共同研究が生まれるきっかけにしてもらうことが目的です。
- ・第12回の4月3日は「京都府立けいはんな記念公園」の見学会を実施しました。

<今後の予定>

- ・第13回目は7月1日（水）18:30~20:30 けいはんなラボ棟2Fで開催。今回は特に、新入社員の皆様に、学研都市内の主な施設を知っていただき、今後ご活用いただくことを願って、けいはんな主要施設等の説明と、国立国会図書館関西館、同志社大学、京都府立けいはんな記念公園等からの施設紹介を行い、その後交流会を実施します。

お問い合わせ：新産業創出交流センター TEL：0774-98-2240 FAX：0774-98-2202 中井

【サイエンスカフェ】

- ・最先端の科学技術に触れつつ、和やかに参加者同士の会話が弾む異業種交流会。ゲストに毎回、科学技術を中心に各界で活躍されている識者を迎え、最先端の動きを伺います。
- ・第30回は、4月1日（水）16:30～19:00 国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科 情報システム学専攻 ロボティクス講座 教授 小笠原司（おがさわら つかさ）氏から、「人を見守り、手助けするロボットをめざして～日常生活を支援するためのロボット技術～」と題し、対話型ロボットや人の動作の支援のためのセンシング技術などのロボット研究を中心に、人を見守り・手助けするためのロボット技術の現状を紹介いただきました。
- ・第31回は、6月3日（水）16:30～19:00、京都府京田辺市の株式会社モステックより、「『コイルされどコイル』～エッジワイズ巻きコイルって？～」と題し、お話を伺いました。

<今後の予定>

- ・第32回は、8月5日、16:30～19:00 国立大学法人 和歌山大学観光学部地域再生学科 教授・学生自主創造科学センター長 尾久土 正己（おきゅうど まさみ）氏 を迎え、「プラネタリウムなどのドームシアターに日食を再現する実験」について話を伺います。

お申し込み先：新産業創出交流センター 企画部 中井・高木

TEL：0774-98-2240 FAX：0774-98-2202 URL：<http://keihanna.biz/> E-mail：science@keihanna.biz

<お知らせ>

○弊センター、財団法人 関西文化学術研究都市推進機構へ組織統合

「けいはんな新産業創出・交流センター」は、「財団法人関西文化学術研究都市推進機構」と、7月1日、組織統合し、新たな「財団法人関西文化学術研究都市推進機構・新産業創出交流センター」としてスタートいたします。

学研都市がサード・ステージ（建設推進・高度な都市運営の段階）を迎えたなか、産学官連携・産業創出、国際交流等の分野において、これまで以上に力をあわせ、学研都市プロジェクトの中核的な役割を担ってまいります。今後とも倍旧のご支援、ご指導、ご活用をよろしくお願い申し上げます。

当面、推進機構本部、ならびにセンター本部の事務所、電話番号について変更はございません。また、大阪オフィスにつきましては、6月12日より、中之島センタービル30Fの、社団法人関西経済連合会内に移転いたしております。大阪オフィスの電話番号、アドレス等は変更ございません。

財団法人 関西文化学術研究都市推進機構 （本部）

〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台1丁目7 けいはんなプラザ3F

TEL 0774-95-5105 FAX 0774-95-5104

同 新産業創出交流センター

〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台1丁目7 けいはんなプラザラボ棟3F

TEL 0774-98-2230 FAX 0774-98-2202

同 大阪オフィス

〒530-6691 大阪市北区中之島6-2-27 中之島センタービル 30F

社団法人関西経済連合会内 TEL 06-6441-9213 FAX 06-6441-9347

<会員の皆さまへ>

弊センターの活動・会員サービスなどへのご意見・ご要望がございましたら、下欄にご記入の上、FAX または E-mail にて返信下さいますよう、心からお願い申し上げます。

《 FAX : 06-6441-9347 E-mail : amano@keihanna.biz 》

御社名

部署・役職

お名前

ご連絡先

(ご意見・ご要望)

- 本ニュースレターの必要部数をお知らせいただきますれば送付させていただきます。
- 本ニュースレターで紹介されたベンチャー、シーズにつきまして、ご関心をもたれた場合は、資料取り寄せ、紹介（匿名も可能）などさせていただきますので、お申し付けください。
- 1号から6号までの総集編ディレクトリーもございます。

(以 上)